

繊維スリング

PR

超重量物の運搬で活躍する繊維スリング
(明大提供)



スリングメーカーは機能繊維を使用した付度、耐薬品性、耐熱ユーザニーズに迎え 加価値の高い製品が注性、難燃性などを生か多様な製品展開を行う 目されている。高機能し、超重量物の運搬やており、その中でも高 繊維の特徴である高強 高温・高熱作業に耐え

中東情勢、原料に影響の可能性

繊維スリングは玉掛け作業を効率的に、かつ安全に行うためのツールだ。ワイヤロープやチェーンなどと比べて軽く柔らかいため扱いやすく、荷物を傷つけない特徴を生かして土木・建築や物流、製造業などの業界で活躍している。かさばらず収納・保管がしやすいため作業者の負担軽減に貢献する。原材料にナフサ由来の素材を使用する繊維スリングは、昨今の中東情勢の影響を受ける可能性がある。こうした中、メーカーは新規需要の開拓を見据えて生産能力の拡大を目指す。

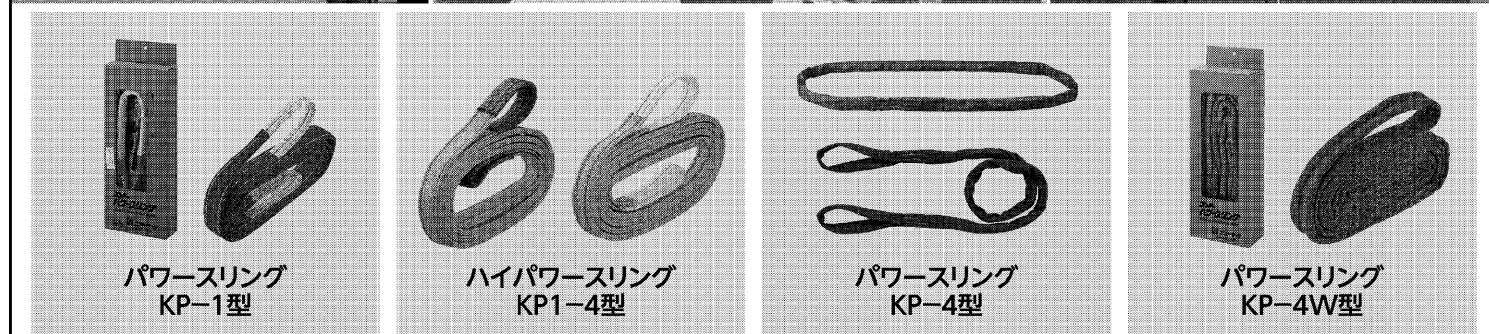
る製品を開発。幅広い用途に耐える繊維スリングは「繊維スリングの用途は幅が広くなる。これらの材料はナフサを熱分解、あるいは改質することによって生成される成分を原料として製造されている。繊維スリングの強みである軽

最近の市場動向について、明大の小河原敏嗣社長は「前年度の繊維スリング業界の需要の動きは伸びている。」「繊維スリングの認知が高まっていることや作業者の安全性の観点から、使用される産業が広がっている」と分析する。また「繊維スリングの用途は幅が広くなる。これらの材料はナフサを熱分解、あるいは改質することによって生成される成分を原料として製造されている」と述べる。

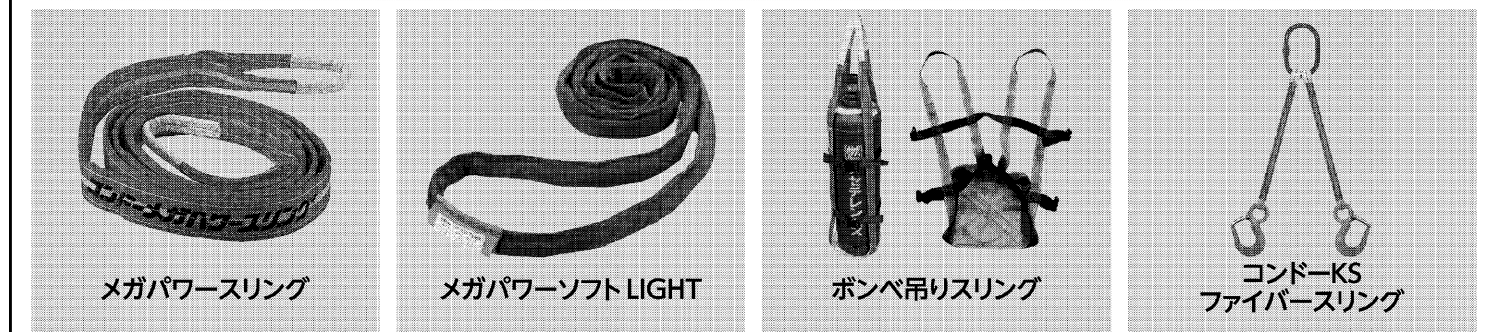
(次頁下段に続く)

付加価値高め市場広げる

さ、柔らかさ、扱いやすさと強度の両立は化学繊維を使用しているからこそ成り立つ。ただ、今後の中東情勢の変化に伴い、原材料調達や生産体制、価格転嫁などに影響が生じる恐れがある。メーカーの今後の動向が注目される。



作業環境に合わせて選択できる、幅広いラインアップ!



コンドーテック株式会社

<https://www.kondotec.co.jp>

コンドーテック

検索

※弊社ホームページより
WEB カタログを無料ダウンロードできます。

特注品事例など、
WEB ショールームにて
公開中!





JIS B 8818 IV等級
標準玉掛用ベルトスリング

ロックスリング シグマ

JIS QTEC
JIS B 8818
QT0608003

JQA-QMA12967
ISO 9001

高荷重でもより安全に



特殊織物のリーディングカンパニー

明大株式会社

本社・工場 〒710-0146 岡山県倉敷市曾原484番地-1
TEL.086-485-1355 FAX.086-485-2078
E-mail : head_office@meidai.co.jp



ホームページ
<https://www.meidai.co.jp>

地域未来牽引企業 経済産業大臣より地域経済の中心的な担い手となりうる企業として「地域未来牽引企業」に選定されました

有力企業の製品・技術 (順不同)

コンドローテック

コンドローテックは豊富なラインアップで市場のニーズに応え、繊維スリングの販売を強化している。ラウンドスリングでは、汎用型の日本産業規格 (JIS) 適合品ポリエステルスリング「KPI-4型」、汎用型の45%以下に軽量化した高荷重対応の「メガパワースフトLI-GH T」、オリジナル形状の「KPI-4W型」を展開。今後洋上風力分野でも需要が見込まれる数百トン荷重向けの販売にも注力している。

ベルトスリングはJIS III等級両端アイ形「KPI-1型」、エンドレス形「KPI-2型」、高強度IV等級「KPI-4型」、化学薬品用「KPI-3型」を用意。そのほか超重量物用ベルトスリング「メガパワースリング」、専用品の「ボンベ吊りスリング」、セット品としてすぐに使える「KSファイバースリング」など豊富に品ぞろえする。

明大

明大の標準玉掛け用ベルトスリング「ロックスリングシグマ」はJISの最上級グレードIV等級に対応している。これはIII等級の製品と比較して、同じベルト幅でも最大使用荷重が約25%大きい。優れた耐久性により、重量物でも安全な玉掛け作業に適しており、作業効率の向上、作業負担の軽減に貢献する。

原糸を調達し、燃糸から製織、延伸、縫製、検査、出荷まで国内の自社工場で一貫生産体制を整える。さまざまな材料を組み合わせて縫製することで作業内容に合わせた多様な提案を実現。超重量物や長尺物の荷役用製品も提供可能だ。また設備投資で増産体制の強化と短納期化を進める。

現在は高耐荷重の製品に力を入れており、洋上風力発電市場など新しい需要を取り込む。

繊維スリング

付加価値高め市場広げる

今後、同社は生産増リングの切り替え需要 期待を寄せる。洋上風 流設備の設立や老朽化する製品として繊維スリングを視野に入れる。生 力が広がっている」と話 力発電設備は大型かつ したインフラの更新工 リングの需要が広がっ 産体制を見直し、人員 す。大型構造物の輸 重量物の荷役作業が多 事、生成AI (人工知 ている。

の配置や設備の効率化 送、据え付け案件の増 脱炭素社会の実現 能) ブームに伴う半導 umerカー各社の新規 を目指す。

さらにコンドローテックの営業担当者は、労働力不足や作業者の高齢化が進んでいること 風力発電関連の需要に と推測する。「大型物 や安全性の向上に貢献 もある。繊維スリング 市場の今後の発展に期 待が高まる。

新規開拓、生産増強目指す

加に伴う高強度・大容量に向けた動きを受け 体工場建設などの需要 開拓が進み市場が大き